



～岡山県内のGISを用いた農地傾斜測定の事例について紹介します～

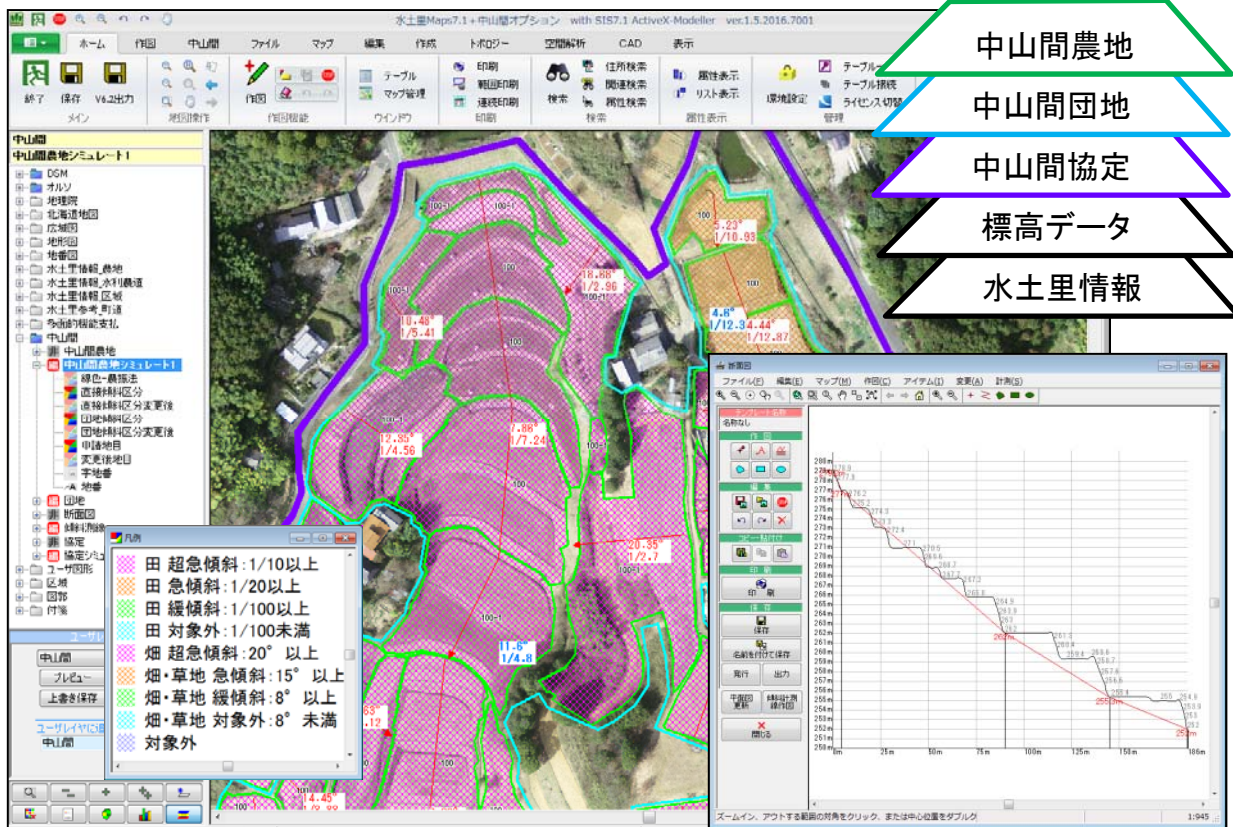
(1/2)

今回紹介する団体：岡山県内9市町村、水土里ネット岡山

取組概要

内容： 水土里情報を活用して、中山間地域の協定・団地・農地情報を整備。

農地の主傾斜を測定し、団地単位で傾斜度の面積加重平均・傾斜区分判定を行い、中山間地域等直接支払に必要な図面や帳票を作成。



(傾斜測定画面)

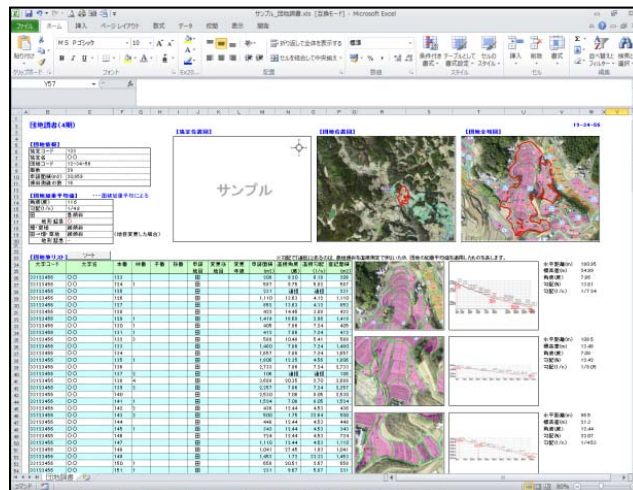
(断面図 1:5表示)

- 経緯：① 中山間地域等直接支払第1期において岡山県内全域を対象に、GISを用いて団地単位で農地の主傾斜を測定。
- ② 第3期では、傾斜測定の意向のあった市町村について、団地・農地筆単位で傾斜測定を実施。水土里情報を活用し、標高データは50cmメッシュDSMを使用。
- ③ 第4期では、急傾斜団地について超急傾斜となり得るか否かの測定(傾斜区分判定)を実施し、対策期間中における地目変更対応に活用。

期待される効果

- ・ 農地特定～傾斜区分判定、帳票出力を1つのシステムで行うことが可能
- ・ 傾斜区分判定の根拠資料が蓄積される
- ・ 新規協定策定時にシミュレーションを行うことが可能
- ・ 他の事業と共に管理することが可能

中山間にかかる日常業務の効率化をはじめ、市町村の農業農村整備全般を共通のGISである「水土里情報システム」に集約・共有することで、集落協定単位での縦断的かつ柔軟な計画策定に活用することが可能。



(断面図付き団地調査)

今後の活用予定

- ・ 耕作者の意向調査等を登録、協定の将来像をシミュレート → 集落戦略
- ・ 荒廃農地調査、多面的機能支払現地確認、中山間現地確認等を1システム複数部署で活用し、市町村内での情報共有を図る
- ・ 現地調査、現地確認において、モバイルを使用することも可能 (オプション)
- ・ 農地属性を任意帳票に出力し、調査資料作成工数の軽減を図る (オプション) 等の提案を実施中 (システム上は対応済み)

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : 水土里Maps 7.1 Ver.1.5x + 中山間オプション (32bit/64bit)

GISエンジン : SIS 7.1 ActiveX Manager または ActiveX Modeller (32bit/64bit)

DBエンジン : Excel または Access 2010・2013・2016 (32bit/64bit)

運用形態 : スタンドアローン または ネットワーク (LAN/WAN/LGWAN)、モバイル可

標高 : 50cmメッシュDSM標高 または 国土地理院5mメッシュ標高

■お問い合わせ先

岡山県土地改良事業団体連合会 総務部水土里情報課 086-207-2203 (直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)